

## 学校評価／学校関係者評価

学校自己評価の結果をもとに、学校運営の更なる改善及び教育水準のより一層の向上を図ること等を目的として、学校関係者委員会による評価、ご意見を伺いましたので、以下に報告いたします。

## II. 学校関係者評価

## 1. 学校関係者評価委員

委員構成 ; 病院関係者 1名、 当校卒業生 1名、 地区町会役員 1名

## 2. 学校関係者評価委員会 開催日時 : 令和 5年 5月23日(火) 15:30~17:00

事務局 : 校長、副校長、事務長、委員 3名

・招集案内: 令和 5年 4月28日(金)

・令和 4年度学校自己評価結果の郵送: 令和 5年 5月12日(金)

## 3. 次第

(1) 校長挨拶

(2) 令和 4年度学校自己評価の概要報告

(3) 学校関係者によるご意見・質疑応答

## 4. 学校関係者からのご意見・質疑応答等

項目	内容	評価・ご意見・ご提言・今後の課題
教育理念・目的	教育理念・目的・目標 育成人材像 特色ある学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・准看護師の減少が続いているが、当病院グループを含めて世間には、まだまだ存在している。学校の理念・目的が、教職員に理解されていて良いと思う。</li> <li>・様々な事情から、働きながら学ぶ必要がある人にとって、当校は意義のある存在。</li> <li>・若者支援のための助成や学び直しという世の中の機運が高まっているように思う。その意味では、准看護師養成が増えて、当校の特色が多く活かされるとよいと思う。</li> </ul>
学校運営	運営方針 事業計画 組織・制度 意思決定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍特に第6波以降、陽性者や濃厚接触者が発生した中、無事にカリキュラムを修了できたことは良かった。一方、実習病院としては、一部中止とした点、ご理解いただきたい。 → 病院内の感染対策が大変な中での実習受入れについて感謝している。</li> <li>・人事や賃金面では、設立母体グループとの関連があり、不透明と感じる点があるのか。一方で、組織運営や意思決定は、学校として機能しているように見える。</li> <li>・処遇改善に向けては、学校としての自立が求められる。</li> </ul>
教育課程・教育活動	カリキュラム 指導体制 学習評価 実習体制 職場内研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和 5年度からのカリキュラム改定について、初めての科目、内容の変更など大変だと思うが、よりよい指導となるようすすめてほしい。</li> <li>・実習前の会議もあり、学校との連携はうまくいっていると思う。指導者にとっても、良い刺激になっている。母性・小児の実習病院確保について、情報等知らせたいが、難しいため、学校として引き続き努力してほしい。</li> <li>・オンライン研修に参加している方が増えているのは良い傾向。</li> <li>・母体グループによる学生アンケートがあり、ハラスメントについての学生と教員間の意識・認識の差を感じたので、令和 5年度に学内での学生・教職員を対象とした「ハラスメント研修」を行いたい。</li> </ul>

項目	内 容	評価・ご意見・ご提言・今後の課題
教育成果	就職率、資格取得率の向上 退学率の低減 卒業生の社会的評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>国試合格率、就職は順調に行われており、指導体制ができています。国試合格100%を達成してほしい。</li> <li>前年度退学者が無かったが、4名発生。 →1名は本人の病気のため休学から退学、1名は親の介護、1名は進路変更、1名は修学意欲低下。各々事情があり、相談・支援は充分できていた。</li> <li>卒業生のその後を知りたいと思うが、同窓会設立などの予定はどうか。 →卒業前のアンケートでは、前向きな学生が少ないため学校としては現在予定していない。以前からLINEへの登録をお願いしている。</li> </ul>
学生への支援	学生の健康管理 学生の相談対応 課外活動への支援 保護者との連携 学生への経済的支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ感染6波以降、病院でも陽性者・濃厚接触者が増えたが、学校でのクラスター発生が無く、よかった。</li> <li>学生の相談は、これまで学内教員、非常勤カウンセラー、学内投書箱の3本建てで対応してきたが、母体グループによる全学生アンケート以後、母体グループでの相談窓口が第3者窓口として開設された。</li> <li>若者への公的支援が話題になり、施策が増えていくと思う。学校として、乗り遅れないように展開してほしい。</li> </ul>
管理運営・財政	財務基盤の安定 中長期的な財務基盤 非常時の危機管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>収支の悪化で自己評価が低いポイントになっているようなので、ともかく新入生の確保、募集活動を積極的に行う必要がある。</li> <li>コロナがら類感染症となり、地方から志願者が増えればよいが、学生を確保し学校として極力自立していくための方策、活動をひとつでも多く実施する必要がある。</li> <li>地震、Jアラートなどの災害時の危機管理について、地域や病院との連携が図れるよう検討する必要がある。</li> </ul>
教育環境	校舎の整備 施設、設備 学生スペース	<ul style="list-style-type: none"> <li>電気代が高騰しているが、影響はどうか。 →学生の勤務先病院に比べて省エネ温度設定にしている。それでも、前年比1.5倍くらいコストUPしている。また、コロナ禍による臨地実習の中止などによって学生の在校・教室利用が増えていることも電気代に影響しているが、学習環境の面からはやむを得ない。</li> </ul>
法令順守	法令順守 個人情報 自己点検	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己評価ポイントが比較的高いポイントとなっていて、法令の順守意識が高いことが伺える。 インターネットのウイルス対策などにも引き続き注意してほしい。</li> </ul>
学生と受入れ	学生募集 入学選考 学納金	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度新入生数は、十分とはいいがたいが、前年比増はよかった。先程から話題となっているが、今年度の取り組みはどうか。 →事業計画で挙げたように、学校案内パンフレットとホームページのリニューアル、学校訪問活動の再開、説明会の開催回数増などを実施していく。</li> <li>在校生にも関わってもらうとよいのではないか。 →学校新卒の1年生にフォトレターを依頼して、出身校へ送る予定。また、帰省時等での挨拶をお願いしている。</li> <li>大学などで実施のAO入試などを検討してはどうか。 →今年度、推薦入試として、これまでの学校推薦、病院・施設長推薦に加えて、自己推薦の導入を準備していく。</li> </ul>
社会貢献	地域社会への貢献 地域社会との連携 学生ボランティア 教育資源を活用した社会貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>例年、学生のボランティア活動に対する自己評価が低いようなので、先の課外活動と関連して、地域活動への参加を授業時間内に取り入れることを検討してほしい。可能ならば、活動の具体化については共に検討したい。</li> <li>病院イベントへの参加というのも一案。</li> <li>令和5年度、母体グループの新人ナース、介護職員の合同研修を初めており、既に協力してもらっているが、引き続きよろしくお願ひしたい。</li> </ul>